

2020年第8回教育委員会定例会 会議録

日 時 2020年8月25日(火曜日)午後1時30分～午後3時55分
場 所 北栄町役場 第1委員会室
出 席 者 別本勝美教育長、徳岡幸裕委員、竹信純一委員、吉田由香里委員
説明等の出席者 中原教育総務課長、杉本生涯学習課長、磯江図書館長、岡崎中央公民館長
藤木室長、澤村指導主事、浪花指導主事、妙泉指導主事、崔 SSW、中野室長、
渡辺室長

会議の要旨

(開会)	午後1時30分
別本教育長	只今より、第8回教育委員会定例会を開催します。 会議録署名人です。事務局をお願いします。
事務局	竹信委員、吉田委員をお願いします。 (各委員了承)
別本教育長	行政報告について、教育長から報告します。 (資料により説明) ご質問等、ございますか。
竹信委員	新聞の活用は、月に1回でしょうか。
別本教育長	月に1回です。今は大栄中学校だけです。
竹信委員	北条中学校の方でも、広げていただくということですね。
別本教育長	はい。
竹信委員	今 NIE 教育は以前から取り組まれて、推進されているところもあります。その関係で、それに持っていこうというわけではありませんか。
別本教育長	そういうことではありません。
竹信委員	新聞を通していろいろなことに、興味や関心を身に付けるということでしょうか。
別本教育長	普段は始業時に、朝読書をされています。朝読書の時間を利用して、月に1回新聞を読んで、地元でどういう事業が起こっているのかを知り、地元を目を向けてほしいという思いもあって、始めていただいております。大栄中学校が始めたことによって、琴浦の小学校の方でも始めていると聞いています。放課後児童クラブでも、新聞を提供していただいて、新聞を読む活動をしていただいております。放課後児童クラブでは小学生ですので、読むといっても漢字が読めなかったりもします。「今日は北栄という字が、どれだけ出ているか探してみましよう」など、そういうことをされています。
徳岡委員	そうですね。各家庭で新聞は取っておられるのでしょうか。
別本教育長	今の若い世代は、取っていない家庭もあると思います。
徳岡委員	そうですね。学校で新聞を見るということになれば、家で取っている家庭はどうしても、見ようかなとなるかもしれません。テレビ欄しか見ていないかもしれません

が、他のところに目を向けることもあるかもしれません。

別本教育長 昨今のスマホなどのいろいろな情報機器の普及で、活字離れが進んでいます。今は本でも、スマホで読む時代になっています。

竹信委員 すぐに記事をネットで調べられます。私の家では新聞を取っていても、誰も読まないです。

徳岡委員 早いですからね。起きたことがその日のリアルタイムで載ってきます。

別本教育長 それが正しい情報かどうかをきちんと見極めないと、間違った情報を入手することになります。

その他、ございますか。(なし)

続いて各課から、報告をお願いします。

事務局 (資料により説明)

別本教育長 3 のALT関係ですが、次の後任者が来るまでは、ハリスをお願いしております。誰も就かないということにはなっておりません。

教育総務課関係で、ご質問等ございますか。

竹信委員 いじめ件数ですが、学年が記載していなくて件数だけですので、学年的にはどうなのかなといつも思います。最近コロナの件で、誹謗中傷や自殺されるという方もあります。確認はしていませんが、倉吉の方では自宅を出られた方がいると耳にしました。要するに地域に居られなくなってしまう、別の所では石を家に投げられる、青森の方では玄関前に張り紙をされた方もおられました。いじめについて学習をして、心を培ってきたにも関わらず、1年生と6年生では当然レベルが違っているはずですが、学年的にどうなのかなといつも思います。今後報告いただく時には、どういう状況なのかなということを教えていただけると良いかなと思います。

事務局 今手元に資料がありません。そういった目でも、見させていただきたいと思います。

竹信委員 不登校の数が、7月になってかなり増えてきています。30人近くになってきている状況です。これからも増えそうですか。1人1人実態が違って、当然対応はされていると思います。

事務局 月初めの教育連絡会の中で、個別のケースについて学校から報告をいただいております。新しい方がどんどん増えている状況ではなくて、継続の方が続いている状況だと見ております。1人1人丁寧に対応していただいているところですので、1歩ずつの改善は進んでいるのかなと思っております。反対に欠席が多くなってきたという報告も挙がっています。一進一退の状況なのかなと思います。その中で人数だけが積み上がってきているのかなと見ております。

竹信委員 家庭の方に子どもさんがおられるということになると、当然家庭訪問をされたり担任だけではなくて、教育相談などをされますよね。

事務局 そうですね。

竹信委員 私の孫のことで、1学期末に3日間ぐらい休んでいて少し心配しておりました。その対応はどうだったのかなと思いました。家庭訪問はありませんでした。夏休みの家庭訪問など、一度は子どもの様子を見たりすることがあっても良いのかなと思います。確かに学校は夏休みであっても先生方が忙しいのはわかりますが、気になる子のことは顔を見て、過ごし方はどうなのかなど、アドバイスをいただくなりして、

2 学期上手く登校できるように持っていくには、家庭訪問があった方が良くと思います。親とも連携を取りながらやっていかないといけないのかなと思います。

事務局

全体的な家庭訪問の状況は把握できておりません。また様子は聞いてみたいと思います。スクールソーシャルワーカーの話ですと、担任の先生だけではなくて何人かで、いろいろなチャンネルを使いながらすることは大事だと聞いております。工夫はされているのではないかなと思います。

徳岡委員

子どもが学校へ行かないとなると、家に居るといことになりますが、その事実を両親は承知しているのかなと思います。学校で子ども達に勉強させてやりたいというのはわかりますが、どこがアプローチするのが良いのかよくわかりません。親の方にアプローチして行って、自分の子どもが学校に行かないといことになると、学力的に問題であれば子どもの将来のことに関係してくることで、学校に行きたくないというのは子どもの方の問題なのか、それを許す親もいろいろと考え方があると思いますが、その辺りを親も交えて一緒に話さないといけないとなると、親の方にアプローチする方法を考えていかないといけないのかなと思います。何か良い方法が無いのかなと思います。学校に行かないというのは、コロナ関係で今後学力はオンラインなどで学習ができるのかもしれませんが、人間は人と付き合っていないといけません。人と触れることを退けてしまうと、集団生活で上手く折り合いをつけて、生活できるということ学ばせないと、これからの世の中がすごく生き辛くなってしまふような気がします。教育的に何を教えないといけないのかは、単純に学問だけではないような気がします。子どもだけを相手にするのでなくて、その後ろにいる親にも何かしてあげないと、せっかくの来れるチャンスを、もしかしたら親の方が潰しているといことになれば、別の方法も模索しないと、その子ども達は来られないといこともあるのかもしれませんが。複雑な状況があつて、個々の状況がわからないので何とも言えません。毎年結果的には同じような人数になっているのかもしれませんが、それが減少していく方向の方が良いので、これがずっと同じだといことになれば、手を付けるところを少し変えていかないと、人数的にも変わらないのかなと思います。子どもの学ぶ機会を、なんとか確保ができたならと思います。

別本教育長

学校では子ども達が1日でも休んだら、何故休んだのか必ず電話をされます。保護者とも話をし、電話で済む場合もありますし、電話だけで済まない話では家庭訪問を必ずしています。保護者とのやり取りの中で、学校の方で判断をしてされています。例えば3日間休んだ時に家庭訪問をされていなかったのは、何らかの電話でのやり取りの中で、そこまで必要ないと判断されたのではないのかなと思います。不登校の人数ですが、全く来ていない子どもがこれだけいるということではありません。休んでいくと毎月累積されるので、30人という人数が挙がってきます。4,5月は休んでいて30人になってしまったけど、7月からは登校しているという子ども入っています。延べ数でカウントしています。例えば現在大栄小学校で、9人学校へ来れていない子どもがいるということではありません。

徳岡委員

9人になったということですか。

別本教育長

そうです。30日経過した子どもが、9人になったということです。週1,2回学校へ来ている子どもも含まれています。保護者、スクールカウンセラー、医療機関などと

定期的に話し合いをしながら、この子にとってどういうアプローチが良いのかということ、しっかり話し合っています。中には今この子には、家庭訪問をしたり話しかけると、プレッシャーになるので今はそっとしておいてやってくださいという子どももいます。今23人子どもがいますが、それぞれ来れなくなっている状況が違います。それぞれに合った取り組みを、学校の方は一生懸命やっていただいております。残念なことに数字としてこれだけ挙がってきているということが、結果として出ています。学校に来れなくても、中部支援センターやフリースクールS、学習ソフトの「OriHime」などを活用して、家庭学習に取り組んでいただいている児童生徒もいます。そういう実態です。

徳岡委員 致命的なのはそんなにたくさんはいないという認識で良いですね。やり取りをしながら、やっているということですね。親も自分の子どもなのに、気にしないわけがないと思います。こんなに多い人数が出るのは何故だろうという思いがあります。

竹信委員 7月末段階で実際のところ、なかなか来れていない子どもは何人いますか。累計だとわけがわからなくなります。30日休むというのは、確かに学習の遅れに繋がりますかと思えます。

別本教育長 4ヵ月弱で30日休んだら、土日もあるのでほとんど1ヵ月休んだことになります。全く来れていない児童生徒は何人かいます。実際の人数は、今お答えすることができません。

その他、ございますか。(なし)

生涯学習課関係で、ご質問等ございますか。(なし)

図書館関係で、ご質問等ございますか。

竹信委員 本の特集コーナーですが、鳥取中央育英の生徒さんが読んでおられる本を私も読みました。若い方のおすすめの本を読むことも良いなと思いました。世代が違う人が、どんな本を読んでいるのか関心がありました。本の福袋は、なかなかおもしろいなと思いました。例えばミステリーものを集めて福袋の中に入っていると、他の作家さんにも関心を持ってもらうことになるので、できないかなと思いました。いろいろなジャンルがあります。大人向けとなると、難しいですね。

事務局 大人向けの福袋ですが、夏休みではなくてお正月や図書館まつりの時期などに、本館の方で行っております。普段ご自身では手に取らないものを、いかに読んでいただくかに力を入れております。いろいろな本を混ぜてみたり、工夫をして新しいジャンルを誘うようなことをしていければなと思っております。

竹信委員 自分が選んでも偏ってしまいます。他のジャンルで、「これおもしろかったな」というようなものが1冊でもあると広がるかなと思います。良い取り組みだと思いました。

別本教育長 入館者と貸出し状況の中で、分室はあまり減っていませんが、本館の方は半分ぐらいの来館者になっていますが、貸出し冊数は増えています。

事務局 そうなんです。今回数字が逆転していて、自分自身で間違いじゃないのかなと思って、何度も点検しました。実際に来館者は増えていないのに、冊数が昨年を上回っていました。

徳岡委員 1人1人の借りる冊数が、増えたということですか。

事務局 増やしたのは、臨時休館をしていた時期だけです。今は通常の1人10冊までで

す。

別本教育長 一度に借りる冊数が増えたということですね。

事務局 そうですね。

徳岡委員 どこにも行けないので、本でも読むかという人が増えているということですね。

事務局 そうかもしれないですね。1 度に借りる冊数が増えたのか、回数が増えていて繰り返し借りていただいているのか、どちらかだと思います。

別本教育長 その他、ございますか。(なし)

中央公民館関係で、ご質問等ございますか。

竹信委員 子どもほくえい塾の魚つり大会についてですが、釣った魚を焼いて食べるとされています。子どもは川魚が好きですか。8 月 1 日に子どもを対象にした事業で、川に住んでいる生き物の調査をして、捕まえた生き物を先生に来ていただいて紹介してもらい、その後ヤマメやマスのつかみ取りをしましたが、誰も食べませんでした。昨年食べなかったのが、今年は無理やり持って帰らせました。大人も食べませんでした。私たちより上の年配の方は、おいしいなあと言って食べられますが、親も食べませんでした。

徳岡委員 食べたことがないんじゃないですか。私も川魚は独特の臭さがあって嫌です。

別本教育長 何人もうなずいている方がおられますね。

徳岡委員 山の方に出張に行った時に、食べる物が無いので食べましたが、すごく美味しかったです。綺麗な水で育った魚なので臭さありませんでした。川魚は臭いというイメージがあると思います。

竹信委員 川魚を食べるのですか。

事務局 川魚を食べて、おにぎりもされるそうです。個人的には川魚が苦手です。去年の写真を見たら、とても美味しくいただきましたと書いてあったので、良い写真が残っているなどと思いました。大山の方には、養殖の釣り堀があります。そこで釣った時には、すぐに血抜きをしないと臭いからと言われて、すぐ抜いて下さいます。どうして延期になったのかも含めて、今度聞いてみます。

徳岡委員 開いてある魚を買っています。内臓を取ったりさばいたりという魚は買いません。焼くだけ、炊くだけという状態の魚ですよ。

竹信委員 私が小学校の担任をしていた時は、休みに魚釣りに行くと 50 匹ぐらい釣れて、それを焼いてということをしていました。その思い出は勉強よりも、子どもたちに残っています。是非体験させたいなどは思っています。今はつかみ取りをしても、その後は食べない格好です。食べさせないといけないと思います。

別本教育長 去年は天候が悪くて、雨が降っていました。

事務局 雨は降っていましたが、一応されました。由良こども園が運動会を体育館でされていて、外ではほくえい塾の魚つり大会をされていました。

別本教育長 その他、ございますか。(なし)

全体を通して、ご質問等ございますか。(なし)

4 議案へ入ります。

議案第 60 号 令和 3 年度から使用する中学校教科用図書の採択について、説明します。

(資料により説明)

なかなかどの教科書も、それなりに工夫をされています。調査員の先生方も、苦労されたのだろうと思います。それでも 1 冊の教科書に決めないといけないということで、子ども達が使いやすい、先生にとっても教えやすい教科書はどれが良いのかというような視点で、選ばせていただきました。東中西部で、協議会を作って選定しています。東西部が、中部と同じ教科書を使っているということではございません。それぞれで選んでいます。

ご質問等、ございますか。

- 徳岡委員 図書館に教科書が全部置いてありますよね。
- 別本教育長 それは前回の教科書が置いてあります。今選定をした教科書は、倉吉と琴浦の図書館に置いてあります。閲覧ができるようにしていましたが、もう期間が終わってしまいました。事務局の方にも一式ありますので、もしも見たいということであれば教えて下さい。
- 徳岡委員 今使用している教科書が、図書館に置いてありますよね。新しい教科書になれば、図書館にもその教科書を置かれますよね。
- 別本教育長 はい、そうです。
- 竹信委員 教科書は紛失したらどうなりますか。取り寄せできますか。
- 事務局 個人が直接書店へ行き、購入していただきます。
- 別本教育長 北栄町の取扱店は、朝倉書店です。
- 竹信委員 教科書は全部デジタル化で見られるようになっていきますか。
- 事務局 デジタル教科書というものを購入すれば見られます。
- 別本教育長 教科書がそのままデジタルになっているわけではありません。
- 竹信委員 QRコードはその部分だけですよね。教科書全体が入っているわけではありませんか。
- 別本教育長 全体が入っているわけではありません。
- 事務局 全体が入っているものに関しては、購入しないといけません。
- 徳岡委員 そういうものがあるのですか。
- 竹信委員 あります。例えば拡大などいろいろとできます。そういうものが必要な子どもは、特にはいませんか。
- 事務局 昨年までは、大栄中学校でおられました。
- 竹信委員 便利ですよね。教科書を持たなくても、家で拡大したり、音声を聞いたりできます。教科書が無くなって、どんどんそういう方向に行きませんか。
- 別本教育長 充実はしていくのですが、当面は 2 本立てで行くのかなと思います。カバンの中に教科書が何も無い状態で、学校へ行くことになるのかもしれないですね。
- 徳岡委員 職場へ行かなくても在宅で出来るようになったら、学校へ行かなくても良くなってしまいますよね。
- 別本教育長 先生の前でないと、勉強しないと思います。家で自学が出来る子どもばかりではないと思います。
- 竹信委員 不登校気味の子どもに対して、学習ソフトの「スララ」はずっと教科書に応じて、いろいろな課題が分野によってありますか。ポイントごとですか。

事務局 教科書には、合わせていません。

竹信委員 ドリルみたいな感じのものがあって、それを開いて問題を解いていく感じですか。

事務局 はい。

別本教育長 県で20人分用意しております。そのうち1人、北栄の子どもが取り組んでおられます。

竹信委員 それをコピーして、使用できませんか。USBに入れて、そういう子どもがもしも増えたら、使用するというようなことはできませんか。

別本教育長 著作権などいろいろなことがあるので、難しいと思います。

竹信委員 作っているのは、一般の業者ですか。

別本教育長 はい、そうです。

竹信委員 ずっと作っていったら全家庭でも使用すると、労力は大変ですが学習の遅れも取り戻せるような気がします。先生方も教材をたくさん作られなくても良くなります。あるいはAIにそれをさせるとか。

別本教育長 それができるようになると、先生方の教材研究などがいらなくなりますね。

竹信委員 教材研究はまた少し違いますよね。

別本教育長 その他、ございますか。(なし)

議案第60号について、承認でよろしいでしょうか。(承認)

5 協議事項へ入ります。

大谷こども園在り方検討について、説明をお願いします。

事務局 (資料により説明)

別本教育長 前回保護者意見交換会や、大谷自治会意見交換会の議事録を配布させていただきました。目を通していただいているのではないかなと思います。その中の特徴的な意見を、今回出させていただいております。その主な意見について、検討すべき事項、確認報告ということで示させていただいております。

ご質問等、ございますか。

竹信委員 来年度の募集をというところで、いつがリミットなのかを前回の教育委員会で教えていただきました。大谷の保護者の方や自治会の方に、意見の聴き取りをされた時期はいつ頃でしょうか。

事務局 保護者が6月です。

竹信委員 来年は廃園にしますよということで、勝負は数ヶ月だというところが、頭にはあるのか無いのか。今年の6月に聴き取りをされるより、昨年度の段階で、例えば1,2月に聴き取りをされて、アンケートを集約されている状況ならまだわかりますが、びっくりされるのではないかなという気がします。あまりにも急過ぎないかなという気がします。

事務局 確かに可能性としては廃園もあると思います。その結論を11月に出すとしたら、おっしゃるように混乱はあろうかと思えます。廃園になるかならないかわからないけれども、一方では来年どうするのかも、決めざるをえないタイミングがあるだろうなと思っております。11月時点で委員会の中での議論が、まとまるのかどうなのか私自身も計り兼ねているところです。仮に最終的な結論がまとまらなかったとしても、来年のことはどうするのかということも、併せて検討はしていけないとい

うところで、挙げさせていただきました。また委員会や別の方のご意見も参考にさせていただきたいと思っております。当然方針を出して、廃園だろうが廃園以外の方向だろうが、保護者の方へ説明は必要だと思っております。納得してもらって、次に進めていきたいと思っております。ご心配されておられるような、11月に必ず最終的な結論を出すつもりはありません。

竹信委員 昨年度の時点で少しでも検討していることを言っておけば、心づもりもできたと思います。その年になって、来年度の募集をしないと伝えるのはどうかと思います。

徳岡委員 来年度の園児数は、何人ぐらいになる話でしたでしょうか。

事務局 先月お配りした資料を見ていただければと思いますが、今年度は21人です。来年度は15人の予定です。

徳岡委員 これから検討して行って、来年は19人を切っても存続していくけれども、翌年は廃園があるということをおかかないと、預ける側からすると1年のゆとりがないと。このスケジュールで来年度の受け入れをどうするのかという話ですが、人数が少なくても、来年度は受け入れなければいけないかなと思います。大谷地区に対しての返しがあって、翌年は廃園にしますよとしていかないと、保護者の了解が得られないような気がします。今年の6月の話で、11月に結論を出すというのは無理かもしれませんね。

別本教育長 コロナの騒ぎがあったため、6月末に保護者会をして、7月に自治会で意見交換会をしましたが、本当は4月の段階でしようと思っていました。

徳岡委員 それならわかります。

別本教育長 保護者会の方から、入園式の後になんかそういう話し合いを持つ機会を作ってくださいと言われていたのですが、このコロナ関係で入園式に出席することができない状況になってしまいました。ようやく落ち着きましたが、6月の終わりの方になってしまいました。非常にスケジュール的にタイトになってしまっていますし、保護者の皆さんに十分納得していただくには、時間的に難しい状況なのではないかなというところなんです。募集をしたとしても、来年どれだけの方が入園希望を出されるのかわかりません。今年は21人という結果だけは出ています。来年は予想で15人だろうというぐらいの話です。

徳岡委員 この19人をデッドラインにこだわる必要はなくて、仮にこれが20人だろうが21人だろうが、先生が受け持てる数からすると4つあるのが良いのか、高い視点から見た時に3つ体制ではダメなのかも検討していかないといいません。19人にこだわるのではなくてそういう体制で考えてみて、今一番小さい大谷こども園については、近い将来そういうことがありますよということで、話をしていかないといいないことはあるのではないかなと思います。地域の方にまだ1回しか説明してなくて、ボールを投げてキャッチボールができていない状況です。来年度については仮に募集人員が少なくても、廃園することはできないのかなと思います。ただし再来年については、投げたボールに対して検討していただけるのではないかなと思います。

別本教育長 今日配らせていただいた資料の施設型給付の概要と仕組みの中で、本町では幼保連携型の認定こども園を運営しております。幼保連携型の認定こども園を運営し

ていく上では、20 人以上の園児がいないと認定こども園として存続ができない実態があります。そこができないと地域型保育給付の施設、小規模保育事業ということで 0 歳から 2 歳までの受け入れしかできないような状況もあります。我々も認識が不足していましたがこういう状況もあります。

竹信委員 完全人数ですか。

別本教育長 人数です。

竹信委員 募集をかけて 20 人に満たなかったら、必然的に認定こども園ではなくなってしまいますか。

別本教育長 これは認可の定員です。そこをどう見直すのかということもあります。大谷こども園においては、認可の定員自体は 60 人ぐらいの認可を取っています。ただ現実的に人が少ないとなると、実態に合わせていく必要があります。後は町として運営の問題も出てきます。町内のこども園をどうしていく方針なのかということも、併せて議論していく必要があるのかなと思います。今後 10 年間で、650 人ほどの園児が 100 人減ります。

竹信委員 実際のところ由良こども園と大谷こども園は、同じ時に建てられましたか。由良こども園には、受け入れるだけの余力はありますか。

別本教育長 保護者の方が、どこを選ばれるのかということもあります。大谷が無くなったなら、必ずしも由良に全部入ってもらおうということではありません。大誠でも良いですし、北条でも良いです。建設年次は似たような頃だと思っています。由良こども園は、何年か前に増築してリニューアルしています。平成 22,23 年頃に先回の議論がありましたが、そこから何年かしたら園児が 150 人ぐらい増えて、またここにきてどんどん減ってきてしまいました。

事務局 委員さんがおっしゃるように意見交換のスタンスというのは、皆さんからの意見をお聞きしたいということで、教育委員会としての方針を持って出たわけではありません。そういったこともあって特に保護者の方は、教育委員会としての方針を正式には確認されておられません。今丁寧に検討を進める中で、私の方がお示した内容以外で説明が十分でないとか、方針が出なくても何かお伺いした方が良いとかあれば、お聞かせいただければと思っております。

徳岡委員 来年度もしも廃園にする可能性があるのであれば、1 日でも早い段階で大谷の保護者の方に、そういう可能性もありますということを説明しないと、次どこにするのかなどの準備があると思います。それを今地域の方々に時間が無くてと言ったら非難を受けるかもしれませんが、蓋を開けてみて 20 人を切ってしまうということになったら、人数が足りなくなるのに、それを今度はできるのかということが問題になります。こども園としてそれが可能だということなら良いのですが、20 人を切ってしまうとこども園が無くなってしまふということが付いて回るのであれば、早めに保護者へその旨を返しておかないと、考えてもらう期間があった方が良いと思います。どちらにしても 20 人いたら良いのかというのは、私は問題があると思います。4 箇所回って観ていますが、やっぱりそこだけ少ない、そこに保育士を配置していかないといけないということになって、全体の子どもに対して、保育士さんの数は決まっているので、効率良くしようとすれば 4 つ体制が良いのか、3 つ体制が良いのかと

というのは、常に議論の対象になります。来年度以降も考えていけないことです。当面大谷こども園が、20 人を切ってしまうということになった時に、認定こども園から外れてしまうというのは、非常に問題があります。そうってからでは困ります。もしも募集しても人数が無く、他のところということになるのであれば、そういう可能性があるんだということを保護者の方に早く返した方が良いと思います。

別本教育長 15 人になったからといって、即認可に影響が出てくるということではありません。そういう状態が続くことは、何とか考えなさいということと言われるだろうなと思います。先程出たように来年度は存続して、もう少し時間をかけてということは可能だと思います。

事務局 来年度の人数は14人でした。再来年は 13 人、更にその次の年になると 10 人になります。ちょうど今が議論すべきタイミングなのかなと思います。

別本教育長 すぐに結論を出して、地域の方や保護者の方に説明をせずに実施に踏み切ってしまうというのは、あまりにも問題があります。その辺はしっかり説明をして、曲がりなりにでもなかなか納得はいかないけどしょうがないなと言ってもらえるようなニュアンスでしていかないといけないかなと思っています。

吉田委員 多分これからいろいろなアンケートをされて、根拠が出てくると思います。その根拠をきちんと 1 つ 1 つ丁寧に説明していくような機会を作ってもらえば、まだ考えることをされていない状況だと思いますので、今根拠を示せれることが出てきたので、それを基に話し合いをされていけば良いかなと思います。その時は丁寧な説明をお願いしたいなと思います。

竹信委員 杉本課長さんがおられる時は、栄保育所の時が担当でしたでしょうか。その時の経緯を私はよくわかっていませんが、この資料で行くと小規模の部分に入るのでしょうか。高齢者と一緒という形にされましたが、その時の説明は地域の方々の意見も聞きながらされたと思います。どういう風にされましたか。

事務局 合併してから 7 年間、子育て支援室の担当で幼保一元化ということで保育施設当時町立 6 園、北条みどり保育園の合計 7 施設、町内に未就園児の通う施設があるという中で取り組みを始めて、その目的は保育の質の向上が第一にあります。幼稚園と保育所という施設を、厚労省と文科省というそれぞれ別の施設が所管して、同じ未就園児なのですが、取り組み方が違うということで、大栄側には保育所があったということ、北条側には幼稚園と保育所があったということで、それぞれの町の特性もあったということ、当時幼保一元化が全国的に進められていて、認定こども園という制度の取り組みが始まった状況があった中で、北栄町の中でどうすべきかという論理がずっとありました。子ども達にとって重要なのは保育の質の向上だということで、そこに幼稚園という教育課程をきちんと持った仕組みを、3 歳から 5 歳にはどうすべきなのか、それぞれの研修など色々な制度の仕組みには違いがありました。認定こども園のメリットを最大限に活かして、保育教諭の質を向上させるという状態にしたことを大きな柱にしました。その中で 0 歳から 5 歳それぞれの発達年齢に応じた適正な人数というものをどう考えるのかということも、議論が当時されました。保育の質と子ども達にとってより良い環境はという中で参考にされたのは、小

学校に入学する時に少人数の保育園から行くと、小 1 ギャップという状況の中で、子どもがなかなか馴染みにくいと言われる保護者もたくさんおられました。そういう状況の中で様々な視点から総合的に考えたら、認定こども園にするという方向性を選択したこと、保育士の人数と保育の質の関係を総合的に見て適正規模を判断した時に、最終的には子どもの人数が減っていくということで、北条地区、大栄地区それぞれ 2 園程度が最終的に適正な園の形になりはしないかということがありました。北条地区と大栄地区が子どもの人数的にほぼ同じ状況で推移していました。それに基づいて協議を進めていき、保護者や地域の方々々と話を進めていった結果、北条側は東保育所、中央保育所が 1 つの園になって、北条みどりこども園と北条こども園という形になりました。大栄側は栄保育所と大谷保育所同時に協議を進めていました。栄保育所の話を進める中で、地域の方々とも話をしましたし保護者の方へも説明する中で、その途中に社協さんが子どもと高齢者施設を一緒にしたいとご提案がありました。地域の方々とも話し合いをした結果、栄保育所を社協に譲渡するというので、その地域に小規模保育所になってしまいますが、社協が経営されるということで、社協さんの提案に基づいてそういう状況に変わりました。当時大谷保育所も話を進めていましたが、子どもの人数がまだまだ多いということもありました。当時の保護者の意見としては、小学校に上がってからの子どもの不安を考えると、今の園の中で保育教諭にしっかり関わってもらいながら子どもを小学校へ入れたいという声もかなり多かったです。結果的に地域の方々との話などが、上手く折り合いがつかない状況のまま進んでいました。当時は最終的に途中でその話にストップがかかって、行政的な判断としてその当時は集約しないということで今に至っています。

別本教育長

その他、ございますか。(なし)

確認方法や今後の検討すべき事項について検討して、次回に保育教諭の聴き取り結果、有識者の聴き取り結果、保護者アンケート結果を説明できると思います。またそれを受けて議論を進めていきたいと思っています。

吉田委員

ちなみに一般質問は同じような質問ですか。

別本教育長

答弁としては、決定していないので検討中しか言いようがありません。廃園ですか存続するか私と言うわけにはなりません。

2020 年度教育委員視察研修について、説明をお願いします。

事務局

(資料により説明)

別本教育長

先回の委員会の時に、竹信委員の方からICT関係ということがありました。コロナの関係で盛りだくさんの内容であちこちへ行くことは多分出来ないだろうということで、ICTに絞った形で近場を選定させていただきました。県内であればもっと良かったのかもしれませんが、なかなか県内ではございません。今後のコロナの状況を見ながら、この 1 市 1 町で日程調整等進めさせていただきたいと思っています。

ご質問等、ございますか。

徳岡委員

受け入れてもらえなかったら、今年は中止でも良いと思います。

事務局

正直この 2 つがダメだと言われたら、もう取りやめにしようと思っています。

徳岡委員

今年は無くても良いと思います。タブレット授業には興味があります。今年がダメな

ら来年でも見て見たいなという思いがあります。受け入れる側のこともあると思います。仮に1箇所だけになったとしても、今年は無しにしても良いのではないかなと思います。無理はしないようにお願いします。

別本教育長 はい。竹信委員、吉田委員いかがでしょうか。

竹信委員 この学校は大規模ですか。具体的な小学校の名前は美郷小学校ですか。

事務局 学校名は美郷ではありません。小規模です。

竹信委員 小規模だと、なかなか受け入れがたいかもしれませんね。1人1台で学習をしていると、教員も研修をきちんとしていないと出来ませんね。ちなみに場所は遠いですか。

事務局 2時間半ぐらいです。

別本教育長 今は高速が出来て、かなり早くなりました。松江まで1時間で到着します。

竹信委員 そこからが遠いですよね。

別本教育長 美郷町は、小学校が3つあるみたいですね。中学校は1つですけど。

徳岡委員 美郷町は、益田の方じゃないでしょうか。

別本教育長 ちょっとわかりません。無理せずに、この2つの市町で調整するというのでやらせて下さい。よろしいでしょうか。

徳岡委員 はい。

別本教育長 ありがとうございます。

竹信委員 皆さんの方から、協議事項はございますか。

竹信委員 いよいよ2学期が始まります。給食は前を向いて食べているのですよね。授業は班学習を取り入れられているようです。学習も班学習ではなくて、前を向いてしているのではなかったのでしょうか。マスクをしていれば良いのかなと思ってしまいました。基本はどうなのでしょう。給食中はマスクを取って食べないといけないから、当然飛沫などいろいろなことを気にしないといけません。授業中のグループを作ったの話し合いというのは、今は全くやっていないのかなと私は思っていました。

別本教育長 鳥取県の感染状況からいくと、マスクをしていれば1m程度の間隔で授業をすることは可能です。いつも前を向いてばかりでは仲も深まりません。授業によってはそういうことが短時間あっても、やむをえないのかなと思います。毎日検温と体調確認、マスクの着用、手洗いは必ずしていただくようお願いしております。見ているとマスクを付けていない子どもがいることも事実です。

竹信委員 話を聞くと机と机がくっついて、1mどころかもっと近いじゃないですか。それって良いのでしょうか。今は文科省の方でも学級の人数を少人数にする動きも出ている中でどうなのでしょう。そういう風なスペースが実際取れないですよね。ニュースを観ていると、休憩時間になると廊下が密になったりするので、先生が注意して回っているところもあるようです。どこまでが徹底してあって、言葉ではきちんと書いてあるけど、実際にはそういうことをしていない先生もおられたりします。その辺り徹底されているかどうかというのが、参観日が無かったのでわかりません。よそを見たりなどしながら、きちんとしていかないといけないかなと思います。

徳岡委員 皆が適当に散らばって座っているのかと思っていました。

竹信委員 私もそういうイメージでした。

別本教育長 頻繁には学校へ行っていませんが、見ている段階では、グループ学習をしている授業は見たことはありません。教室の中へは入らずに、廊下で観ていますが。

竹信委員 参観日も廊下で観るような形ですか。

別本教育長 そこはどういう風に学校が考えておられるのか、確認をしておりません。

竹信委員 運動会では、テントを張らずにということですよ。集落ごとに集まっていて、密になってしまうのではないのでしょうか。そんな心配もあります。

別本教育長 児童生徒には、できるだけ密にならないような配置をされます。保護者の方が見物される分については、保護者の責任です。マスクを着用していれば、会話をしても問題ありません。後は保護者の責任の中で、見ていただくということではないでしょうか。ただ子どもに感染しないように配慮しないといけません。

6 報告へ入ります。

区域外就学の認定について、説明をお願いします。

事務局 (資料により説明)

別本教育長 指定学校が今通っている学校で、申し立てが通いたい学校ですよ。

事務局 そうです。

別本教育長 町外から町内に来るとということですか。

事務局 違います。町内の方が町外へ出られるということです。町外の指定学校へ行くべきところを、引き続き北条中学校へ残られたいということです。

別本教育長 ご質問等、ございますか。(なし)

7 その他(説明)

次回定例会の日程 9月28日(月)13時30分から

以上で、第8回教育委員会定例会を閉会いたします。

(閉会) 午後 3時 55分

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員